

# 平成31年1月16日開催 第15回県政ランチミーティングに寄せられた ご意見への対応状況について

## 1 開催概要

- ・開催日 平成31年1月16日(水) 11:55~12:50
- ・会場 ワークラボ八ヶ岳
- ・参加グループ ワークラボ八ヶ岳利用者、運営者の皆様
- ・懇談内容 コワーキングスペースを活用した長野県らしい働き方や暮らし方について

## 2 参加者のご意見の概要と、ご意見に対する対応状況

### (1) コワーキングスペースの託児機能の充実について

#### (ご意見の概要)

リゾートテレワーク※1に取り組む中で、コワーキングスペース※2への託児機能の整備を進めてもらいたいと感じている。子育て中の女性によるテレワークを活用した在宅業務が増えており、例えば県として託児が可能なコワーキングスペースを目指す、とただで、他県のリゾートテレワークとの大きな差別化を図ることが出来る。

男性にとってもテレワークをするにあたり、子育てとの両立が課題。コワーキングスペースと託児機能が併設されていればありがたいと思う。

※1 観光地等の環境の良い場所に滞在し休暇を兼ねて仕事をする事

※2 独立して働く個人等が、デスクやネットワーク設備等の実務環境を共有しながら働き交流できる場所のこと

#### (知事の発言)

県では、幼児教育無償化や待機児童対策として、平成31年度予算で地域型保育のサポートを検討している。主体は市町村であるが、コワーキングスペースを結びつけられればよいと考えられるので、関係部局と検討していきたい。

就業促進・働き方改革戦略会議でも女性の就業促進が大きなテーマ。平成30年度中にまとめる「当面の取組方針」に、女性の就業促進の観点から「コワーキングスペース・リゾートテレワークと託児機能の併設の検討」を追加したい。

#### (ご意見等に対する対応状況)

就業促進・働き方改革戦略会議の「当面の取組方針」の「女性の就業促進」分野で、就業者が多い地域やコワーキングスペースの近隣などへの保育(託児)の確保について検討してまいります。

【担当課：県民文化部 こども・家庭課】

【担当課：産業労働部 創業・サービス産業振興室、労働雇用課】

## (2) コワーキングスペースの活性化について

### (ご意見の概要)

これからコワーキングスペースを活用し、東京と地方の二拠点生活を行う人が増えてくると思う。そうした時に困ってくるのが、地方に宿泊場所がないこと。

長野県でリゾートテレワークをするにあたり複数のメリットがあるが、1つは都会からの移動の際、交通経費が安く済むこと。また、コワーキングスペースを使用する側からすると、快適な環境や設備が整備されていることが重要。コワーキングスペースを使う人は調べる能力・情報リテラシーが高く、インターネット等の情報を活用し調べた上で来ているため、正しい情報がきちんと発信されていることが重要。

### (知事の発言)

県内の宿泊施設における客室稼働率は全国最低となっている。空き部屋はあるはずなので、宿泊施設とコワーキングスペースの連携ができればWin-Win※3の関係を作れるのではないかと。全般的な情報発信については、県がただ調べてホームページに掲載するようなことは、効果が期待できないのでやらない方がいい。情報発信の方法について、改めて考えていく必要がある。

※3 双方に利益があり、良好な関係を築くこと

### (ご意見等に対する対応状況)

都会からの移動コストや移動手段の多様性のPR、コワーキングスペースの利用情報の提供については、「信州リゾートテレワーク推進事業」の広報活動での実施を検討してまいります。また、県ホームページの掲載内容については、利用者の視点に立ち修正を進めてまいります。

【担当課：産業労働部 創業・サービス産業振興室】

## (3) スタートアップ企業との連携について

### (ご意見の概要)

ものづくり系スタートアップ企業に対して、アイデア段階から試作品製作までを支援している。こうした企業が集まるには組立工場が必要であり、ものづくり産業が多い諏訪地域の企業とつなぐことができれば新しいビジネスが生まれる。県内には、多くのコワーキングスペースがあり、「アイデア段階から事業として発展するまでつなぐことができる」ということを県からアピールしてもらえると、関係者にとって非常に大きな強みになり各地のコワーキングスペースも盛り上がると思う。

### (知事の発言)

長野県では工業技術総合センターや農業試験場等が様々な研究を行っているが、特にスタートアップ企業に対して知名度が低い。県の持つノウハウや機器類とスタートアップ企業がつながる仕組みが出来ればよいと考えている。

### (ご意見等に対する対応状況)

工業技術総合センター業務をコワーキングスペース等で積極的にPRし、県創業支援センターとも連携しながら、企業との情報交換を進めてまいります。また、工業技術総合センターで進めているIoTデバイス事業化支援においては、現在、長野県立大学との連携のための調整を行っておりますが、コワーキングスペース入居企業等への支援も視野に入れながら、今後も引き続き情報交換を進めてまいります。

農業分野においては、スマート化を推進するため、平成31年度に県、試験場、民間企業、大学、農業団体などによるプラットフォームを立ち上げ、各機関の情報共有、技術シーズや研究テーマ、現地ニーズなどの共有やマッチングを行う体制の整備を行う予定です。スタートアップ企業への周知方法や参加呼びかけについても検討していきます。

**【担当課：産業労働部 創業・サービス産業振興室、ものづくり振興課】**

**【担当課：農政部 農業技術課】**

#### **(4) コワーキングの連携について**

##### **(ご意見の概要)**

コワーキングスペース間の連携を考えると、近いところ同士の連携は可能だが離れたところとは難しい。遠隔地との連携は今後の課題だと思う。

##### **(知事の発言)**

コワーキングスペースの連携については、間に県が入る方法があると思う。他にも長野県立大学のソーシャル・イノベーション創出センターが様々な取組みを検討しているとのことなので、県立大学とコワーキングスペースが連携していける可能性もあるのではないかと。

##### **(ご意見等に対する対応状況)**

県立大学ソーシャル・イノベーション創出センターにおいて、県内の各コワーキングスペースから具体的な相談があればその都度対応してまいります。また、コワーキングスペース同士の連携協力については、ネットワーク化による連携を検討してまいります。

**【担当課：県民文化部 高等教育振興課】**

**【担当課：産業労働部 創業・サービス産業振興室】**

### **3 問合せ先**

企画振興部広報県民課県民の声係

電話 026-235-7110

FAX 026-235-7026

E-mail koho@pref.nagano.lg.jp